

久保浩子によるガーナ共和国レポート

～HPEEと支援の旅 2～

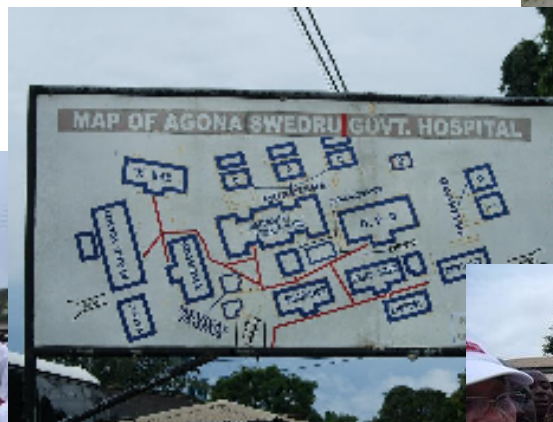
2009.6.9～6.17

ガーナリポート ＜～病院にて～＞

さて、子供たちの別れ、バスのトラブルから2時間後、次の場所にやってきた私たちです。

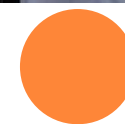
こちらはSwedru Government Hospital(いわゆる、国立病院)です。立派にも、こんなに大きいのです。が、国立でも機材が整っていない現状で、今回 HPEEからそれぞれ医療器具を贈呈したわけです。

もちろん、どのようなものが必要かを事前に聞いて、届けたのです。



色々な、器具の説明をしています。

聴診器や、ピンセット、体温計や、もちろん赤ちゃん用の耳に入れるだけで体温が計かれるものとか、さらには、大きな機材まで、説明しています。浩子の隣にいる女性の方たちが、看護師さんです。



ガーナリポート ＜～病院にてつづき～＞



一人の男性のおでこをみてください。
これは、冷えぴたの説明をしています。熱をだしたら、このように貼れるのですよってね。

是非、この機材を活かして頂きたいとの思いがありますが、
聞いたところによると、中にはこの寄付の機材を持って帰って売ってしまうという人も
いるとか。。。
でも、これが現実だったりするのかもしれません。

だから医療の進まない現状もあるのでしょうか。なんだか、複雑な気持ちになったの
は事実ですね。

さあ～、2日目はバスのトラブルがあったものの、無事回りきりました。

夜はというと、最初に来ていた班が明日帰国とのことで、グッバイパー
ティーをかねてのディナーです。
行ったのは、「CAPTAIN HOOK」キャプテンフックと言う、シーフードレ
ストランでした。



大好きなシーフードが沢山でて、今日の夜はいっぱい食べました。
明日も、また早くから出発です。

どこに出かけるか、お楽しみに・・・

ガーナリポート ＜～3日目スタート～＞

おはようございます。3日目朝もハリキッていきましょい!!今日は、Cape coast(ケープコースト)と言う町に向かいます。
山田さんから頂いた、蚊よけのバンドを両手に付けて、ガッツポーズです。
しかし、日本の蚊よけは何も全く効かないらしい。気休めですが、無いよりあった方が良さそうなの私の心の現れです。

さて、今日は最初に来ていた班の3人が帰国です。右から2番目の真壁さん・3番目の山田さん・4番目の古市さん気を付けての帰国を!!!



さあ～私たちはここからですね。いざ、出発!!
ガーナの道では、あらゆる物が売られています。



ガーナリポート ＜～3日目スタートつづき～＞

車の真横を普通に通って、車に物を売り込みます。
パンや、スナック、水、や国旗、地図
何でも売っています。



これはオススメという、バナナチップを途中で買いました。この大きなカゴを、
頭にのっけて歩いているなんて、すごいですよね。
バスの中で、みんなで食べましたよ。これは、なかなかいけましたよ。

さて、Cape cost(ケープコースト)までの道のりは3時間ありました。
その内1時間半過ぎたころですかね。ガソリンスタンドで一旦トイレ休憩。
ここで、またもや私のハプニングがあったのです。

私はトイレに行こうとしたんですが、ガソリンスタンドのトイレは本当にヤバイ
と・・・でも、後1時間半の我慢は厳しい。
男女兼用で1つしかないトイレに、白人さんの団体が並んでいた。
私はその後ろに並んだ。ガーナ人スタッフのリンダと一緒にきてくれた。
並んでる間、出てくる白人さんは、みんな同じ顔をして出てくる。

そんなにヤバイのか・・・行列はつづく・・・
私は、決意した・・・(ガーナ人スタッフのリンダ共に)

こんな体験はそうそう、できないですね。フフフ



みんなが、驚いた中での、私の女優魂でした。あっぱれでしょ!!!
次回は、いよいよケープコーストに到着です。

ガーナリポート ＜～ケープコーストにて～＞

さあ～。いよいよケープコーストに到着しました。

今日のガイドを務めて下さったのが、鈴木親子です。
とても、可愛い娘さんのまーちゃんです。
鈴木ママは、ガーナに住んで14年なんですよ。ガーナの事はとても詳しいです。
また、娘さんのまーちゃんは、英語はもちろんけど、日本語もとっても上手なんです。
この笑顔が、心なごむ素敵な親子で、私は本当にお世話になりました。



さて、鈴木親子のお勧めのお店でランチタイム。鶏肉と焼き飯のような、ガーナのメジャーな食べ物です。これは、日本人の口にはバッチリ合いますよ。ただ、量はすごかった。



ここで飲んだのが、エナジードリンクオロナミンCのような味で私はめちゃくちゃ大好きな味でした。



そして、今回のガーナ人スタッフです。

右にいる「リンダ」は、いつも私の心配をしてくれて、何でも手伝ってくれて、本当に感謝です。いつも、リンダとバスの中でも大笑いしていました。

ケープコーストは、首都アクラとはまた全然違った雰囲気で、時間がとてもゆっくり流れている感じがした。



さあ～次回は、ガーナの歴史とも言える場所をご紹介します お楽しみに

ガーナリポート ＜～エルミナキャッスル～＞

さて、ランチを食べて次に向かった場所。
それが、エルミナ城です。今は世界遺産に指定されている建物です。
私はガイドさんの英語の説明を必死に聞きました。

1471年、金、象牙、スパイスの貿易のために、ポルトガル人が初めてガーナを訪れました。それは年々盛んになり、大きな倉庫が必要となり、エルミナ城を建てました。しかしその後、奴隷貿易の拠点として使われていったのです。ガーナの若い男女は、強制的にここエルミナ城へ連れて来られました。遠い道のりを、手錠をされ、鎖で繋がれ、1列になって延々と歩かされて来たそうです。

城に着くと、男女別に狭い部屋に押し込められました。
この写真は女性の部屋の入り口です。



これが部屋の中です。電気もなく暗い部屋

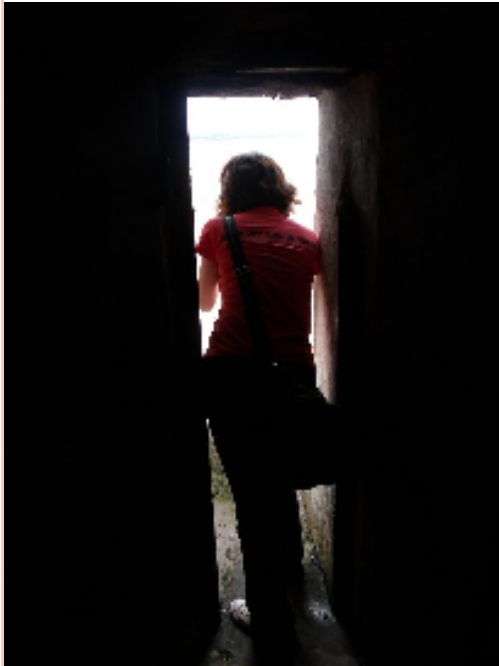


手と足を鎖で縛られ、横になれないほど大勢の人が押し込められました。
東京の満員電車のような感じでしょうか。もちろんトイレに行けず、その場に垂れ流しです。
そして多くの人がその部屋で亡くなっていました。

ガーナリポート ＜～エルミナキャッスルつづき1～＞

真っ暗な部屋を、どんどん奥に進んでいきます。
今は観光の場所となっているので、綺麗に掃除されていますが、匂いだけはとれないんでしょう。
本当に、すごい匂いがしていました。

部屋の一番奥には、扉がありました。昔は小さくて細い鉄格子があったようですが、今はなかったです。そこから、外を私は覗きました。



この扉の外に船をつけ、生き残った人々を乗せ、アメリカなどへ「奴隷」という「商品」を送りだしてたのです。一人がやっと通れるだけの狭い積み出し口。
私は、ここを覗いて思ったのが「今、アメリカで生まれ育った黒人の祖先は、この扉をくぐったことになる...」
「だから、アメリカで生まれた黒人の人たちは生命力が強いのかもしれない...」

中庭をはさんで、男奴隷部屋の向かい側には、ドクロマークの付いた部屋もありました。

反抗した人を見せしめのために入れる部屋でした。この部屋に入ったら最後、餓死するまで出れませんでした。何人も同時に入れられる場合は、最後の一人が餓死するまで扉が開けられることはなかったということです。最後の一人となった人の恐怖と苦痛は、筆舌を超えるものであったでしょう。



ガーナリポート ＜～エルミナキャッスルつづき2～＞

ここが中庭です。ここから階段で城の2階へ行くと大砲が並んでいました。



ポルトガル人がオランダ人との戦争の時、使ったのでしょうか。



3階に上がると、急に心地よい風を感じました。

「総督は、城の中でも1番いい所を、自分の部屋にしていたんだ」と思いました。外も見えて、漁船が沢山ありました。

総監の部屋は台所、寝室、会議室などに分かれていました。

ベランダもあって、下を見ると女性達が押し込められていた部屋の入口が見えました。総督は、女性達には部屋を出て日光浴をすることを許しました。このベランダから総督は、日光浴する女性達を物色し、夜の相手を選んでいたのです。

私は本当に、胸が苦しくなっていました。

エルミナ城の見学を終えて、外に出た時は正直ホッとしました。

それだけ、重い歴史であり、このような事実があった事を肌で感じたからだと思います。

日本軍も、アジアの人々を中心に、残忍な虐殺をしてきました。

そして今も、世界中のあらゆるところで、差別や戦争は続いています…。

歴史を繰り返さないように、心に刻みつけなければならないと思いました。

そんな、今回は歴史の勉強でした。

次回は、また、明るい私のハプニングをお届けします。



ガーナリポート ＜～ケープコースト泊～＞



エルミナキャッスルの観光を終えて、3日目の夜はケープコースト泊です。
リゾートホテルのようなここでお泊りです。

沢山のヤシの木が植えてあり、白浜の海のような土です。



そして、一つ一つ、コテージのようになっている部屋にお泊り
です。この建物はドイツ人が建てたホテルだそうで、とても広
い綺麗な部屋でした



食事までの時間を、ガイドで来て下さった鈴木親子と海際のホテ
ルのカフェでコーヒータイム

その時です。

空に虹が縦にでたのです。ブログにアップしたらわかりずらいかな？
白い雲のちょっと下に、虹がでたのです。
私、めちゃくちゃ感動。。。ガーナでの虹を見れたのは、今回、日本から
行ったメンバーの中で

私一人です。



ガーナリポート

<～ケープコースト泊つづき～>

さて、夕食タイム!! めちゃくちゃ、大きいお皿を持ち上げて、めっちゃ重い!今日は、洋食をいただきちゃいました。でも、どこでも量はすごいです。

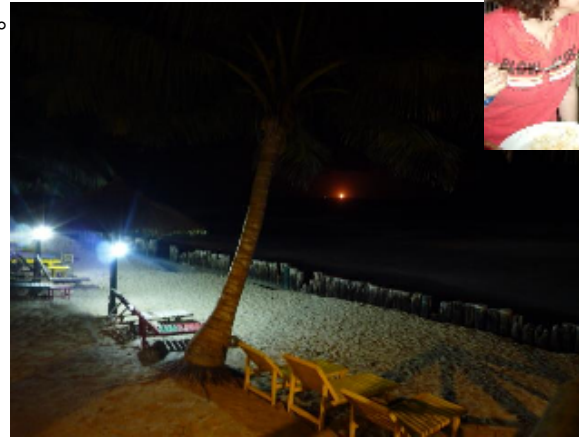


全部のお皿がでかいです。
誰ですか?ガーナに行ったら痩せちゃうなんて言ったのは!!
全く、痩せる気配がしないです。

食事の後は、夜景をバックに写真撮影
この夜景。よ～く見て下さい。
小さく丸い赤い光を……
油田なんですよ。



仲良くなったまーちゃんとも撮影



これ、苦しかった
夜景モードで撮影したので、30秒くらい静止してなくてはならなかったんです。
その割には、バックの夜景が……。
なんとか油田は入ったって感じですがね。

そして、この後は各自部屋へと……
その時です。また、私のハプニング。。。。

両手いっぱい、カメラや鍵や、充電機をもって、コテージの部屋の鍵を開けようとしたら、デジカメだけが落ちた。しかも、よりによってコテージのコンクリートの階段の角に当たった ひえ～助けて……………その後、部屋で自分を撮って試してみるも、いっぱいの横線が入っている。
そう、カメラは壊れてしまった そのショックを隠せないまま、寝る支度。。。。

そして、朝、起きる為だけに目覚ましとして使っていた携帯電話。充電がなくなってきているからと・変換機をつけて充電しようと充電機をさした瞬間
シュア～ という音 やってしまった 充電機まで壊れてしまった。唯一、救われたのは、携帯はまだ充電機にさしていなかった事です。

ああ～、みんなは疲れを癒しているだろう時に、一人でバタバタと2個も物が壊れて、アタフタ…落ち込みながら、この日の就寝となった。
私のアタフタさが伝わるでしょ。。。ああ～今思い出してもショックな出来事でした。 また、私やっちゃいました。トホホ

次回は落ち込んだまま向かえた朝。お楽しみに!!